

## 認定こども園土崎幼稚園 沿革

大正	6年	郡有建物養蚕所を借用し、知事より大正6年5月21日幼稚園の認可を受け、同年6月20日設立者近江谷栄治氏、園長中山文太郎先生をもって開園。4歳児23名、5歳児15名
昭和	3年	加藤助吉氏、知事へ園長設置者の届け出し、認可を得る。
	20年	戦争のため、建物強制疎開の命により、解体休園する。
	8月	学務課に再開を申請し許可を得る。竈（かまど）神社、授産所、琴平神社に分散し保育を始める。
	22年	母の会や特志の方たちの協力により園舎設計の計画を立てる。
	23年	保育室2、ホール、職員室他を建設し、授産所は分園として継続
	24年	園舎竣工式典挙げる。
	28年	ベビーブームため、隔日保育に入る。
	29年	図書館の旧舎をもって増築し、隔日保育を解消する。
	31年	40周年式典挙げる。
	36年	園庭南側に保育室を増築する。分園を廃する。
	39年	保育室を増築する。
	41年	50周年記念式典を挙げる。
	43年	給食始まる。
	47年	園歌制定する。作詞、竹内瑛二郎、作曲、大山会三郎
	55年	学校法人の認可を得る。学校法人加藤学園として発足する。
	56年	園舎改築完成、竣工式典を行う。
	58年	園バス運行が始まる。
	61年	70周年記念式典を挙げる。
平成	元年	東北私立幼稚園研究大会の公開保育を行う。
	4年	預かり保育始まる。
	5年	県私立幼稚園の第2分科会の公開保育を行う。県私立幼稚園研修大会で研究発表を行う。
	8年	創立80周年記念式典を行う。
	9年	県私立幼稚園第4分科会の公開保育を行う。
	12年	小型バス購入、預かりの部屋にクーラー設置 大潟村に菜園を借りる。園舎外壁（北、南側）修理する。
	13年	園舎外壁（東、西側）修理し、園舎修理完工する。
	14年	完全週5日制実施、新制服採用、県私立幼稚園第7分科会公開保育を行う。
	15年	大型バス購入 満3歳児入園始める（二学期）
	16年	給食、業者による週4日制になる。
	17年	早朝預かり行う。
	18年	満3歳誕生日の月初めからの入園許可
	19年	創立90周年記念式典を行う。
	20年	幼稚園・保育所新規採用者研修会場として公開保育を行う。
	21年	園舎耐震強度診断検査・審査合格
	24年	ロンドン五輪日本代表 江畑幸子選手と交流する。（女子バレーボール銅メダリスト）
	26年	東北地区私立幼稚園連合会教員研修大会秋田大会で公開保育（全日本私立幼稚園連合会コーディネーター養成講座）を行う。
	27年	学校法人加藤学園土崎幼稚園を廃止し、学校法人加藤学園幼保連携型認定こども園土崎幼稚園となる。
	28年	危険防止カメラ2台設置
	29年	創立100周年記念式典・祝賀会を挙げる。記念誌発行する。 遊具の撤去と設置（ブランコ・滑り台、鉄棒）
	30年	小型バス購入
令和	元年	大型バス購入
	2年	園内壁紙張替、LED化（遊技場を除く）
	3年	園舎外壁塗装（園庭側）
	4年	園庭の環境整備（きのこ撤去、お山改良）、ホール用大型空気清浄機導入
	5年	0～2歳児保育のための園舎内外改修・給食室設置工事